

P4-8

愛知県における院内がん登録データの利活用 施設別集計の実践

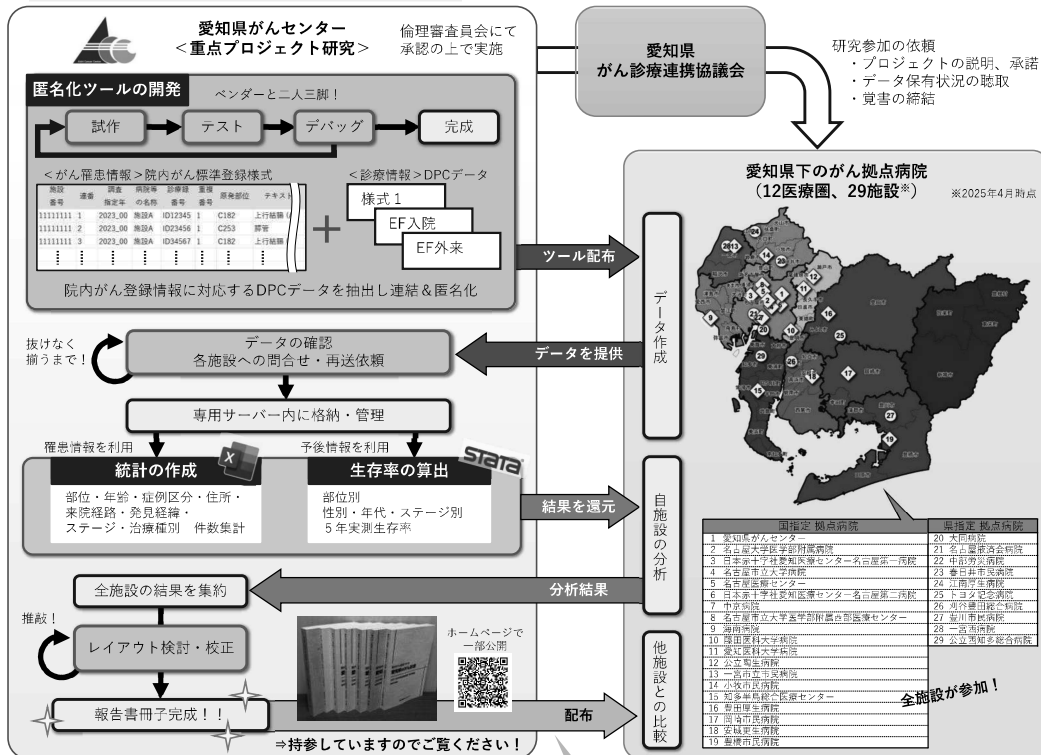
川浦正規⁽¹⁾、尾瀬功⁽¹⁾、小柳友理子⁽²⁾、松尾恵太郎⁽²⁾、田正洋⁽³⁾、山本一仁⁽³⁾、
丹羽康正⁽⁴⁾、伊藤秀美⁽¹⁾

(1) 愛知県がんセンター 研究所 がん情報・対策研究分野 (2) 愛知県がんセンター研究所 がん予防研究分野
(3) 愛知県がんセンター病院、愛知県がんセンター診療連携協議会 (4) 愛知県がんセンター

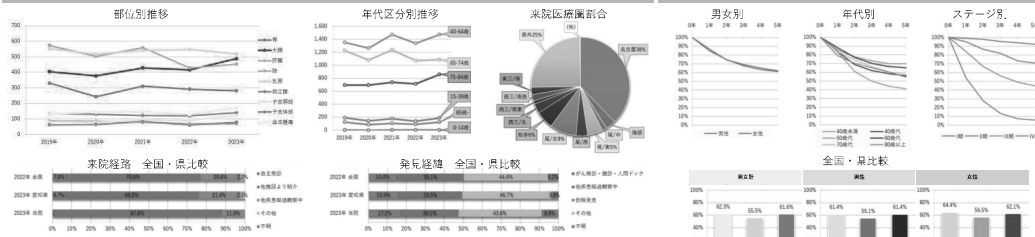
背景

がん医療の均てん化を目的として、全国でがん診療連携拠点病院（拠点病院）が整備されている。愛知県では、2025年4月時点で、国が指定する拠点病院として愛知県がんセンター（都道府県拠点病院）および18の地域拠点病院の計19施設が、がん診療の中核を担っており、加えて県が指定する10の拠点病院もがん医療を支えている。
愛知県がんセンターでは、愛知県におけるがん医療の均てん化と質の向上に資することを目的として、各拠点病院に協力を働きかけ、院内がん登録情報とDPC情報の連結匿名化情報を収集するしくみを構築し、データの利活用に取り組んでいる。

活動報告：施設別集計への取り組み



【集計結果一例】 愛知県がんセンター 2023年度集計



集計制作には四国がんセンター 寺本典弘先生・大平白津子様はじめ皆様にご協力を頂きました。感謝申し上げます。

結果

施設ごとのがん診療実態を可視化し、比較可能なデータとして整備することで、施設間の医療のばらつきを把握し、改善に向けた基盤を構築できた。集計結果はWEB公開などを通じて、愛知県がん診療連携協議会や各施設で活用が進められている。一方で、継続的なデータ収集体制の維持や、集計結果のより高度な活用を促す支援が課題である。

今後について

本取り組みは、愛知県のがん診療の均てん化と医療水準の向上に寄与するものであり、さらなる継続・進展を目指す。現在、DPC情報の抽出システムを開発しており、将来的には院内がん登録とDPC情報の連結匿名化情報を用いた分析も行う予定である。

【COI開示】 本演題に関連して開示すべき利益相反はありません。